

小林美恵 Mie Kobayashi ヴァイオリン



photo/Kenshu Shinshuho

小林美恵は、美しい音色とダイナミックで重厚な演奏で、音楽の真髄に真摯にせまる日本を代表するヴァイオリニストとして、リサイタル、室内楽、オーケストラの共演などで、充実した演奏活動を行っている。近年は自主企画公演も意欲的に展開しており、デビュー 25 周年の 2015 年からは 2 年間で 6 回の記念リサイタルを企画好演し、2018 年 2 月からは Hakuju Hall にて、ヴァイオリンの神秘と魅力に多彩な角度からせまる「小林美恵 華麗なるヴァイオリンの伝説」全 6 回のリサイタルシリーズが下記のタイトルで進行中。「ダ・ヴィンチの迷宮」「ヴェルサイユの光と影」「ロマンの歓喜と狂気」「天使と悪魔」「クリムトの幻影」「宵ひ待ち草が見た夢」東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1983 年第 52 回日本音楽コンクール第 2 位。1984 年海外派遣コンクール河合賞受賞。1988 年にはシュボア国際ヴァイオリン・コンクール第 2 位、あわせてソナタ賞を受賞。1990 年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で本格的な活動を開始する。これまでに、NHK 交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢等の国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、ブラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価される。また、静岡の AOI・レジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても活動を広げ、軽井沢国際音楽祭に毎年出演するなど音楽祭にも積極的に参加している。

CD は、「プレイズ・クライスラー」、パスカル・ロジェとのデュオ「フォーレ作品集」「ラヴェル&エネスコ：ヴァイオリン・ソナタ集」、ツィゴイネルワイゼンなどを収録した「ヴァイオリン名曲集」、「J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ 全曲」など多数リリース。

2010 年、ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれ、2012 年には、パキスタンで行われた日パキスタン国交樹立 60 年の記念演奏会に出演。そのほか、フランス、イギリス、タイ、中国、韓国、ニュージーランド、オーストラリア、イタリア等でも公演を行い、美しく洗練された演奏は多くの聴衆を魅了している。

現在、昭和音楽大学客員教授

HP : <https://miekobayashi.com/>

阪田知樹 Tomoki Sakata ピアノ



© HIDEKI NAMAI

2016 年フランツ・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第 1 位、併せて 6 つの特別賞受賞。東京藝術大学を経て、ハノーファー音楽演劇メディア大学ソリスト課程ピアノ科に在籍。第 14 回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて最年少入賞。第 35 回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、及び聴衆賞等 5 つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞受賞。

初めての共演です。今まで何回かお話はあったのですが日程が合わず、ようやく！！実現。嬉しいです。私の知らないヴァイオリンの曲も本当によくご存知で、何を聞いても電光石火のごとく教えてください。頭の中がどうなっているのか知りたいです。ベートーヴェンがヴァイオリン・ソナタを作曲した歳よりはるかに若い阪田さん、即興演奏を得意として活躍していた、若きベートーヴェンと重なります。 小林美恵

これまでに世界 20 力国以上で演奏。2018 年にはライブツィヒ・ゲヴァントハウスにてリサイタルデビューを果たす。国内外問わず数多くの指揮者、オーケストラと共演を重ねるほか、室内楽奏者としても活躍。2 枚の CD アルバムをリリース。

幼少期より作曲編曲にも傾注、近年は委嘱を受け、初演機会に恵まれている。2017 年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。

秋場敬浩 Takahiro Akiba ピアノ



© Gervorg Perkupekryan

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業。在学中にアリアドネ・ムジカ賞、安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞受賞。その後、同大学院音楽研究科に進み、2015 年に博士後期課程修了(音楽博士)。ロシア国立チャイコフスキー記念モスクワ音楽院にてミハイル・オレーネフ教授に師事し、2011 年に国家ディプロマを得て同音楽院研究科修了。東京のオペラの森(2008)、軽井沢国際音楽祭(2017、2018)、コミタス国際フェスティバル

こんなに音程のいいピアニストを私は知りません。たとえ調律のされていないような、どんなピアノでも、ベルベットのような感触でヴァイオリンを包みこみ、調和した響きを生み出します。長い指で、どんな魔法を使っているのかしらと思います。ロシア音楽を得意とする秋場さんとは、ベートーヴェンが当時のロシア皇帝、アレクサンダー 1 世に捧げた内容の濃い作品 30 の 3 曲とロマンスを。待ち切れません。 小林美恵

(2016、2019 / アルメニア)などでリサイタルや室内楽公演を行ったほか、アラクス・マンスリアン(S)、カレン・シャールガリジャン(Vn)、ドミトリー・フェイギン(Vc)、小林美恵(Vn)、佐藤久成(Vn)、横川晴児(Cl)、林美智子(M-s)、コミタス弦楽四重奏団といった演奏家たちと共演を重ねる。東京藝術大学音楽学部非常勤講師を経て、現在、愛知県立芸術大学音楽学部、桜美林大学芸術文化学群非常勤講師。

上田晴子 Haruko Ueda ピアノ



© 三浦興一

東京藝術大学付属高等学校、同大学卒業、同大学院修了後、ロータリー財団奨学生として渡仏、パリ・ヨーロッパ音楽院卒業。1986 年、ロン＝ティボーコンクール入賞、1995 年、日本国際ヴァイオリンコンクール最優秀伴奏者賞受賞など受賞。

ソリスト、室内楽奏者として日、欧で演奏活動を行う。共演する演奏家は、J.J. カントロフ、P. ヴェルニコフ、O. シャルリエ、千々岩英一、小林美恵、玉井菜採、A・デュメイ、S・ルセフ(vn)、B. パスキエ(vla)、堤剛(vc)、M. アリニョン、N. パルデイルー(cl)、エネスコ SQ 等。録音は、ALM より、カントロフとの CD「プロコフィエフ、シュトラウス・ヴァイオリンソナタ集」(レコード

その昔、フランスで 4 番のソナタを初めて晴子さんと弾くことになって、パリ音楽院でのリハーサル中、ベートーヴェンの記した表示の意図がよくわからなくて、教授達に質問しに回ったことを懐かしく思い出します。今回、ベートーヴェンを弾こう!と思ったコンサートでも共演していただき、きっかけを作っていただきました。10 番のソナタは 4 年前にも白寿ホールで共演していますが、今回はまた違った趣きになると感じています。小林美恵

芸術誌準特選)、同誌特選の「ドホナニ、エネスコ・ヴァイオリンソナタ集」「エネスコ、プゾーニ・ヴァイオリン作品集」「ベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全曲集 vol.1, vol.2, vol.3」、M・アリニョンとの CD(レコード芸術誌準特選)、エイヴェックスより L・カンタとの「メロディーズ」(レコード芸術誌特選)、オクタヴィアレコードより千々岩英一との「ポエム」(レコード芸術誌準特選)、フランスのレーヴェルで L・コルシアとの「ミスター・パガニーニ」、郷古廉との「ブラームスソナタ」など多数。

2019 年 2 月、姫路市文化芸術賞受賞。

現在パリ国立高等音楽院室内楽科教授、ピアノ科准教授。

【ご注意】 新型コロナ感染症対策として、事前および入場時にお願いする事項がございます。詳しくは、下記サイトの「Hakuju モデル」をご一読ください。

<https://www.hakujuhall.jp/pdf/top/hakujumodel.pdf?v2>

社会状況によって演奏会の開催を見直す可能性があります。小林美恵ウェブサイトまたは Hakuju Hall ウェブサイトを適宜ご確認ください。

小林美恵ウェブサイト：<https://miekobayashi.com/concerts/> Hakuju Hall ウェブサイト：<https://www.hakujuhall.jp/schedule/index.php>